

管理者・リーダーの役割について

管理職・リーダーの役割は、経営資源(人・物・金・時間等)を最大限に活用し、組織・チームの目標を達成し、継続的に成果を出し続けるためにマネジメントを行うことです。その結果、企業・法人を維持・発展させることに繋がります。

具体的には組織・チームの目標を設定し、その目標を達成するための戦略を立て、部下と共有し、実行し、評価・改善しながら、成果を出し続けることです。

また、組織・チームの目標達成の為の業務管理をしながら、職場の人間関係を整え、部下の育成をすることも重要な役割です。

つまり チームリーダーは各々の組織・チームで、ゴール(Goal:その法人が持つミッション・ビジョン・理念・目標)に向かって、PDCA(Plan:目標、Do:実行、Check:監視・測定、Action)サイクルを管理・運営する人です。

このG-PDCAが上手く回らないケースがあります。その理由は単純明快、**1つ目**は、計画は立てるが、実行しない。つまり、絵に描いた餅で終わってしまう。**2つ目**は実行しても、実行しっぱなし。それを評価し、改善しない。つまり、やったらやりっぱなし。そうすると同じミスを繰り返すことになる。

そもそも、初めから完璧な戦略などありえません。やりながら、修正を加えていき、徐々に完璧な戦略にしていくことが正しい姿です。だからPDCAなのです。

管理職・リーダーは「すぐやる・必ずやる・出来るまでやる」(日本電産(株)・三大精神のひとつ) という強い信念を持って、臨むことが大切ではないでしょうか？

